

# LAN対応 IDM-4N デマンド監視システム

## ステップ 1 (デマンド・データの収集)

・パルス・センサとIDM-4Nでデマンド・データを収集し、最適電気料金メニューの選択や上手な電気の使い方をアドバイスする。



〈注〉数秒でデマンドデータを読みます。新IDMソフトは、SDカード、USBメモリ(旧IDMも可)どちらでもデータ収集できます。

## ステップ 2 (デマンド警報)

・IDM-4Nと現場に取り付けたブザー付きパトライトや音声合成警報器を信号ケーブルで接続し、作業者にデマンド状況を知らせる。



〈注〉IDM-4Nはパワーサプライを内蔵していませんので、パトライトは別電源で点灯させて下さい。必ず有線配線が必要です。

## ステップ 3 (デマンドの見える化)

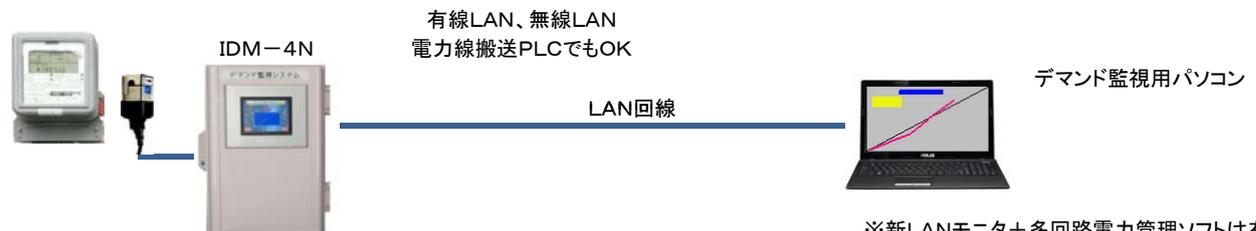
・IDM-4NとLAN接続した増設デマンド表示器を施設内各所に設置し、「デマンドの見える化」を実現する。



〈注〉有線LAN、無線LAN、PLCを利用して簡単にデマンド表示器を標準で4台まで(最大10台)増設できます。

## ステップ 4 (パソコンでリアルタイム・デマンド監視)

・IDM-4NとLAN接続したパソコンで、リアルタイムでデマンド監視やデマンド・データを収集する。

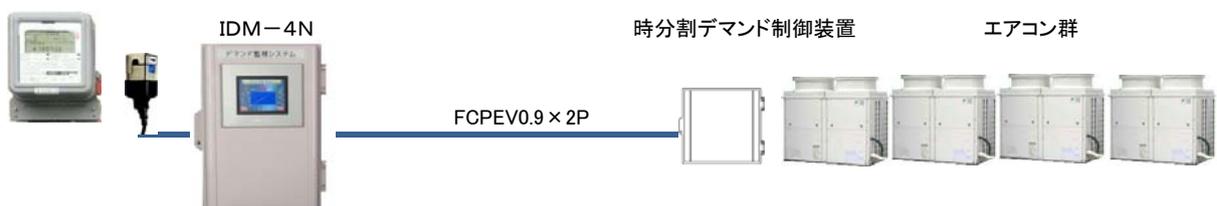


※新LANモニタ+多回路電力管理ソフトは有償です。

〈注〉同時にデマンド監視できるパソコンは5台までです。プライベート・ネットワークが構築されていれば離れた場所からのデマンド監視も可能です。

## ステップ 5 (自動デマンド・コントロール)

・エアコン付近に特許技術の時分割デマンド制御装置を増設し、IDM-4Nでエアコンの自動コントロールや節電運転をする。



〈注〉IDM-4Nは、一般的なデマンド警報装置と違い、高性能な自動コントロール用デマンド予測制御エンジンを搭載しています。